

<フェニーチェSACAYの[SACAY]とは>

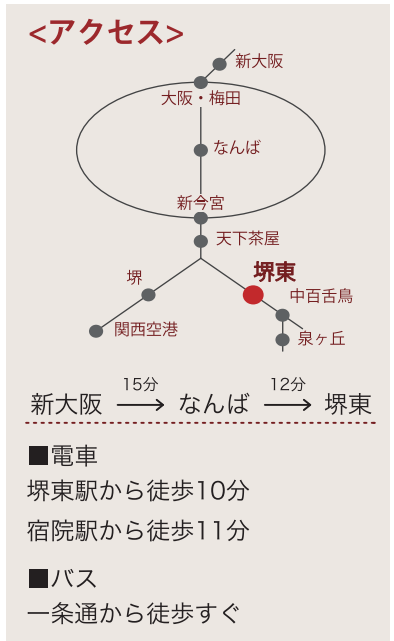
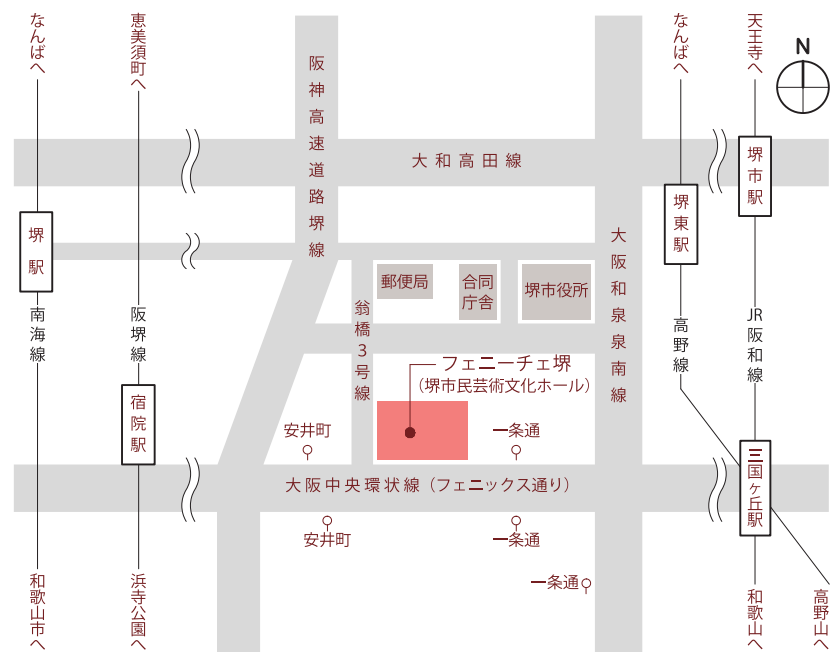
中世において宣教師により記された、ヨーロッパでの印刷による単独の日本図としては最初の図となる、テイセラ／オルテリウス「日本図」（1595年）に記載された「堺」の表現です。国名以外で表記があるのは、堺と都、鹿児島島の三都市のみであり、自由・自治都市、また国際貿易港として大いに繁栄した当時の堺を彷彿とさせる表現です。



©テイセラ／オルテリウス「日本図」[堺市博物館所蔵]

ホール愛称  
「フェニーチェ堺」の由来

堺は幾度の戦火から不死鳥のように蘇ってきました。また、中世、イタリアのベニスと称された堺のまちを想起させることから、不死鳥（フェニックス）をイタリア語で表現しております。



堺市民芸術文化ホール 施設概要

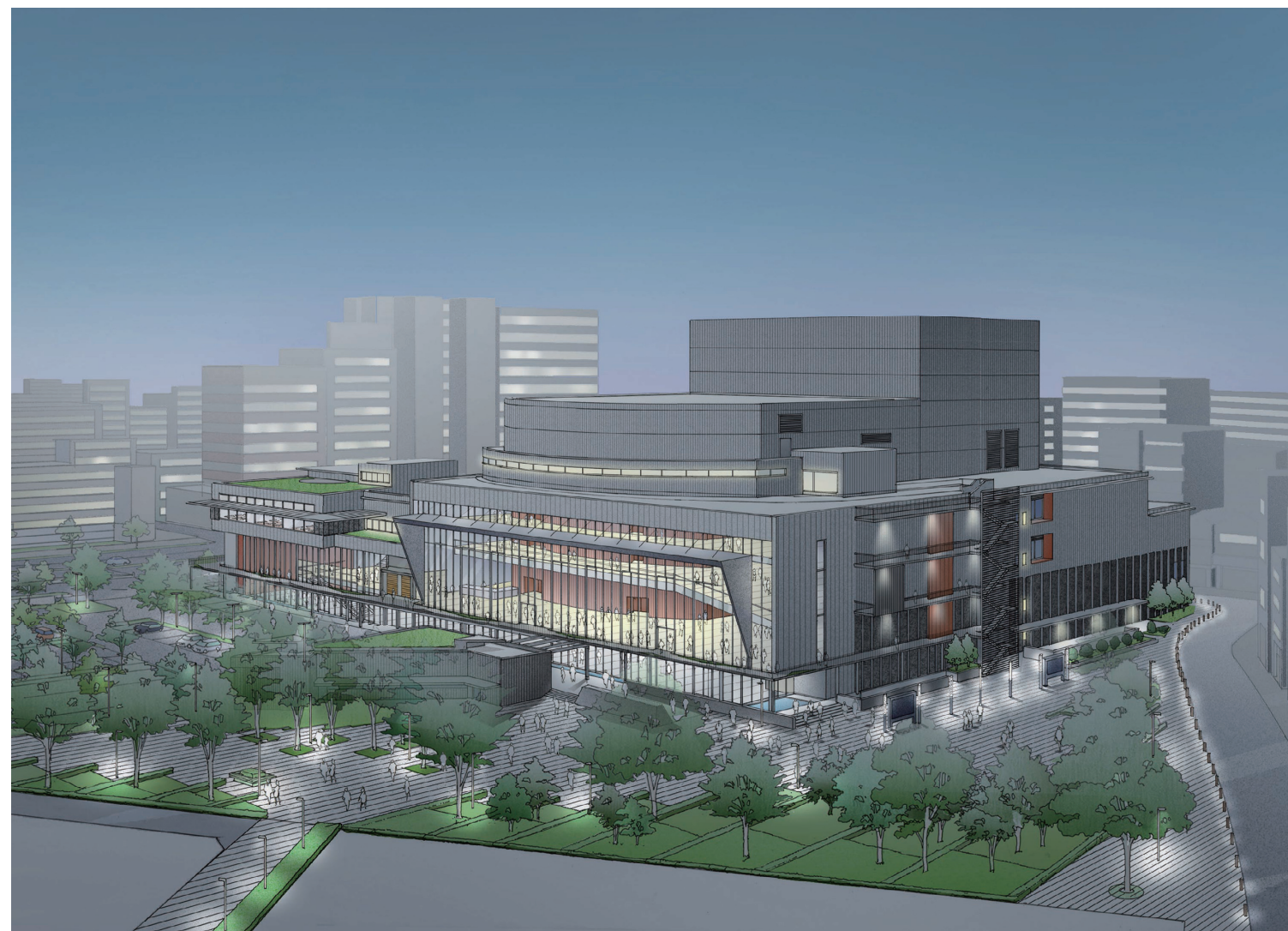
平成30年7月発行  
編集・発行 堺市 文化観光局 文化部 文化課  
電話 072-228-7143  
<http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/geibunhall/index.html>



フェニーチェ堺  
Sakai Performing Arts Center

堺市民芸術文化ホール  
— 芸術文化の創造・交流・発信の拠点施設 —

[ 2019年秋 グランドオープン ]



sacayメイト募集！  
登録料・会費は無料





<優れた舞台芸術や多彩な公演を皆様にお届けします>

■鑑賞事業

- ・オーケストラ、オペラ、バレエ、ミュージカル、演劇、伝統芸能など豪華ラインナップを提供

■創造・発表事業

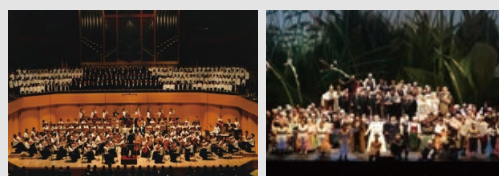
- ・市内文化芸術団体と多様な形態で連携する公演
- ・市民参加による作品創造事業の展開
- ・全国規模のコンクール・フェスティバルの企画・誘致

■普及・育成事業

- ・ワンコインコンサートやファミリーコンサート
- ・公開リハーサルやバックステージツアーなどの参加型事業
- ・演出家・専門家等の解説・レクチャーをセットにした公演

■貸館事業

- ・市民の皆様や文化芸術団体等への施設提供
- ・新聞社・放送局等のマスメディアや民間の興行会社などが主催する集客力の高い公演等への特別貸出



<オーケストラ>

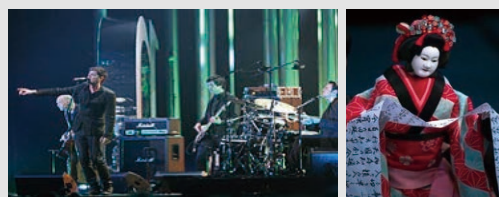
<オペラ>



<バレエ>

<演劇>

<ミュージカル>

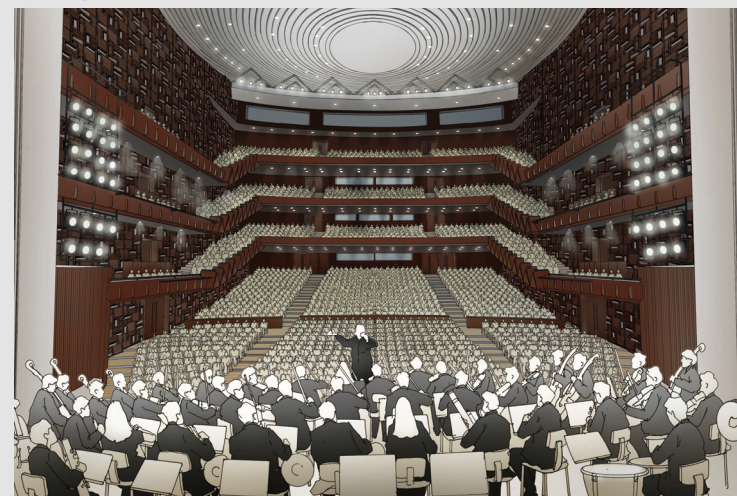


<ポップス公演>

<伝統芸能：文楽>

<大ホール>

音楽系を中心に、オーケストラ、オペラ、バレエ、演劇、ポップス等の優れた舞台芸術や多彩な公演をはじめ、大会や集会等にも対応可能な多目的ホール



大ホールイメージ

■音響環境

- ・ホール自体が「よく響く楽器」のような劇場空間を実現

■舞台まわり

- ・主舞台・袖舞台は、多様な演出にも十分に應えることができる広さを確保
- ・客席ワゴン形式のオーケストラピットを設置

■客席

- ・3層バルコニー構造を採用し、どの席からも舞台が見やすく快適な環境を確保
- ・車いす席や親子室を常設

■ホール概要

- ・客席数 : 2,000席 ※1
- ・主舞台 : 間口18.0m×奥行22.0m×高さ9.0~12.6m (プロセニウム形式) ※1: 舞台前からホリゾン幕まで
- ・上手舞台 : 間口15.9m×奥行23.8m
- ・下手舞台 : 間口7.2m×奥行23.8m
- ・後舞台 : 間口20.0m×奥行9.3m \*17° 仰 1クヨソル - 入有

<計画概要>

- ・建設場所 : 堺市堺区翁橋町二丁地内
- ・敷地面積 : 14,333 m<sup>2</sup>
- ・建築面積 : 8,883 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 : 19,772 m<sup>2</sup>
- ・構造 : 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- ・階数 : 地下1階、地上6階

小スタジオ (18、36、64m<sup>2</sup>)

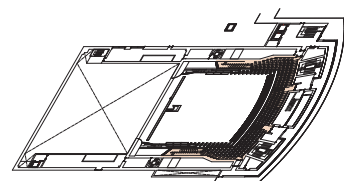
大きさの異なる3部屋を整備し、規模に応じてピアノや軽音楽、コーラスなどの日常の練習に対応。

大スタジオ (287m<sup>2</sup>)

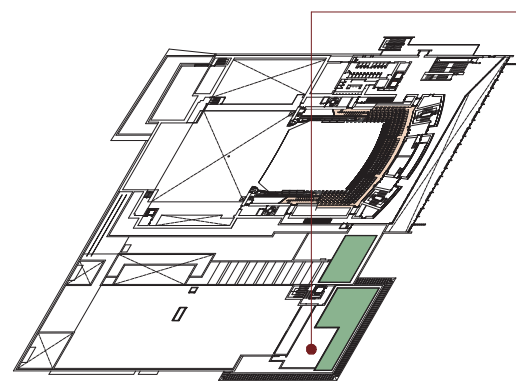
大ホール主舞台の広さを確保し、リハーサルをはじめオーケストラや吹奏楽、演劇など多人数による練習に対応。第三のホールとして発表会にも対応。

水盤 (カスケード)

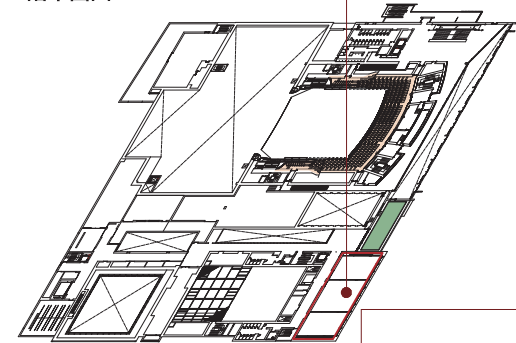
450年前の自由・自治都市であった堺の環濠都市をイメージ。



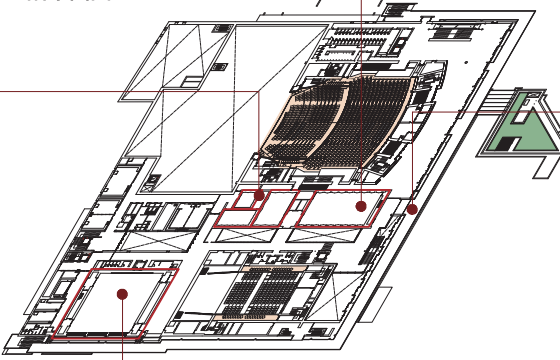
5階平面図



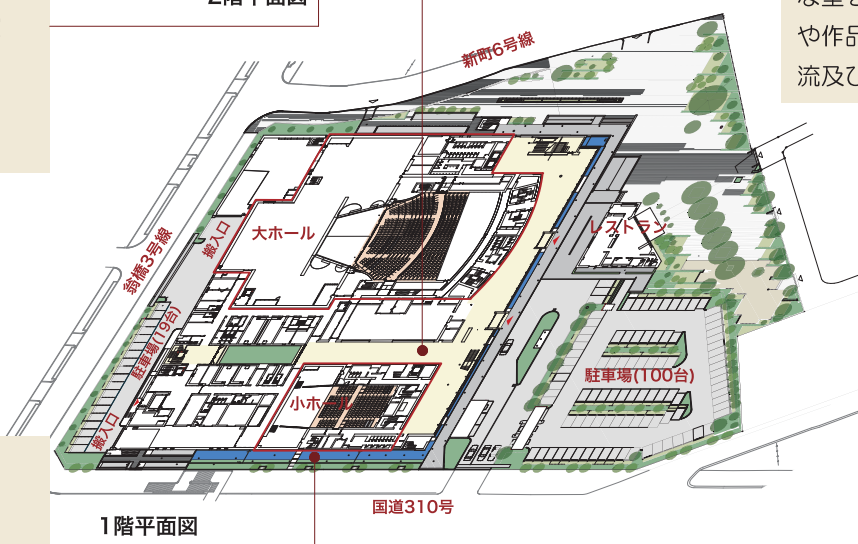
4階平面図



3階平面図



2階平面図



1階平面図

展望ガーデン

仁徳天皇陵を眺望することができ、屋外イベント利用も可能な市民の憩いのスペース。

文化交流室 (233m<sup>2</sup>)

文化講座や会議などのほか、可動展示壁と3.75mの天井高により展示室にも対応。3分割 (68、98、68m<sup>2</sup>) での利用も可能。

多目的室 (161m<sup>2</sup>)

合唱、ダンス、バレエなど日常の練習をはじめ集会、会議などにも対応。

空中歩廊

眺望が楽しめる散策路。災害時には速やかな避難路として活用。

交流・創作ギャラリー

トップライトからの光溢れる3層吹抜空間の両側面に長大な壁を備え、ミニコンサートや作品展示等が可能な市民交流及び文化活動の発表の場。

<小ホール>

音楽を主体としながらも、演劇・伝統芸能など市民の多様な文化芸術の発表や集会などにも対応可能な多目的ホール



小ホールイメージ

■音響環境

- ・可動間仕切方式の側壁音響反射板を設け、豊かな響きの空間を実現

■舞台まわり

- ・音響反射板は袖幕の機能を有するとともに、東西幕が設置でき、演劇や伝統芸能にも対応可能

■客席

- ・固定席のほかサイドバルコニー席を設置し、舞台から客席までの距離を抑えることで、演者と観客が一体となった見やすい環境を確保

■ホール概要

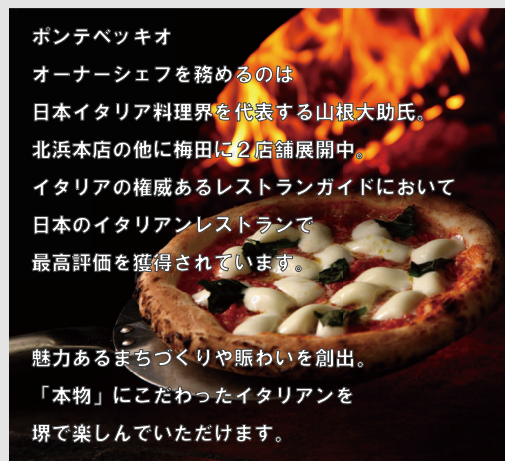
- ・客席数 : 312席
- ・主舞台 : 間口12.2m×奥行9.1m×高さ5.4~9.0m (ワンボックス形式) ※2: 舞台前からホリゾン幕まで
- ・上手舞台 : 間口5.9m×奥行9.6m
- ・下手舞台 : 間口5.9m×奥行9.6m

<レストラン>

レストラン運営及びまちの賑わいに寄与するための取り組みを、指定管理者である(公財)堺市文化振興財団と共に担う運営パートナーが、日本イタリア料理界のトップシェフである山根大助氏が代表を務める『PONTE VECCHIO (ポンテベッキオ)』に決定しました。



写真提供: ポンテベッキオ



ポンテベッキオ オーナーシェフを務めるのは日本イタリア料理界を代表する山根大助氏。北浜本店の他に梅田に2店舗展開中。イタリアの権威あるレストランガイドにおいて日本のイタリアンレストランで最高評価を獲得されています。魅力あるまちづくりや賑わいを創出。「本物」にこだわったイタリアンを堺で楽しんでいただけます。

薪で焼く本格ナポリピッツァ